

平成二十九年四月十六日 大分（九州第六）ひかりのやかた 偉光会館開所に向けて

神 示

神魂根付くにふさわしい地環境と申す

「偉光会館」開所かなえて この地の姿は大きく引き上げられる

家族 縁者がそろって 神の館ていに出入りを重ね 「教え」に触れるほど

家族の心運命は重なり合って 実体を高めてゆける

——開運人生を歩み抜くため

人は皆人間 神の手の中「運命」を宿され この世に誕生している——

この一言いちごん「真理」に悟りを深めて この地の皆信者は 夢ある人生を手にてきる

「運命」に導かれる人生を歩む信者が この地を「正道」へと導き

この地はますます栄えてゆく

神魂宿る「神の館」の開所がかなう今日日今こそ

「教え」に生きて 多くの人の心人々を神神魂へと導く我信者であれ

神 示

——神魂宿りて この地の姿実体は大きく変わる——

時が流れ 神魂の時代を迎え 今 開所する「偉光会館」

「教え」を学び 祈願を重ねるほどに

「運命」に重なる 多くの人々信者が誕生してゆく

開所を迎えるまでの あるべき姿心を教えよう

「教え」を学び 「心の姿」を見詰めて生きる

悟りが深まり 信者の心は大きく育つ

この土地は 神魂宿るにふさわしい処ところと申す

「教え」を学び 悟りを深める人々信者が誕生してゆく

子孫が栄える姿心が ここにある

神 示

神が与えし「運命」 その力を信じて生きる我信者であれ

「教え」を学び 心人生に生かしてごらん

自然と心の動きは安定し 今なすべきことに思いが向かう

「運命」に重なる心の動きが取れる 人の姿が ここにある

「教え」を学び 祈願を通して 我が心を神に預けて生きるべし

奇跡が起きて 我が「人生」 あるべき心の姿が見えてくる